

Q13

外国で生ポリオワクチンの接種を受けた場合、その方法や回数に違いがありますが、ワクチンの内容成分がわが国のものと異なりますか。また、帰国後に改めて接種すべきでしょうか。なお、不活化ポリオワクチンの接種を受けた場合はどうでしょうか。

A

現在世界で使われているポリオワクチンは、経口生ポリオワクチン（OPV）と不活化ポリオワクチン（Inactivated Polio Vaccine：IPV）の2種類です。前者は、わが国のものと同じくセービン株を用いたものがほとんどです。これは、WHOの定めた基準に従ってつくられており、1人分当りのウイルス含量はどの国のものも同じと考えられています。しかし、接種の回数は3～5回とそれぞれ国の事情によりまちまちです。その国の規定回数の接種を受けていれば心配ないと思われれます。不活化ポリオワクチンを受けた場合も、現在国内で使用できる不活化ワクチンがないため、帰国時に規定の回数に満たない場合には免疫を確実にするため生ポリオワクチンを接種することを勧めてください。